

平成 20（2008）年度
「公害総論」

問 11 最近の騒音・振動問題の苦情に関する記述として、誤っているものはどれか。

- (1) 騒音・振動の苦情件数は、ここ数年でみると徐々に増加している。
- (2) 騒音の苦情件数を発生源別にみると、建築・土木工事に関するものが最も多い。
- (3) 振動の苦情件数を発生源別にみると、交通機関に対するものが最も多い。
- (4) 近隣騒音の苦情件数は、騒音に関する苦情全体の約 20%を占めている。
- (5) 騒音・振動の苦情は、公害に関する苦情件数の約 20%を占めている。

（誤問の内容）

5つの選択肢は、全て「公害等調整委員会」調べの統計値により、作成されており、また、テキスト上にも記述があり、本統計においては問題はない。しかし、選択肢(2)において、騒音の苦情件数の発生源別件数は、環境白書等「環境省騒音規制法施行実態調査」によると、H18年度の発生源別騒音苦情件数は、工場・事業場に係る騒音苦情件数の割合が最も多い。

（措置）

本来の正解（誤り）は選択肢(3)であるが、環境省の調査結果も妥当と判断し、結果選択肢(2)も正解（誤り）とし、選択肢(3)と(2)の解答を正解とする。